

6年体育単元指導計画 ボール運動「ソフトバレーボール」(全10時間)

【単元目標】

技能の内容：カバーし合ってボールをつなぎ、相手コートに返すゲームができる。

態度の内容：互いに認め、励まし合い、動きの指示を出し合って、運動することができる。

学び方の内容：チームの特徴に応じて作戦をたてたり、課題を選択したりすることができる。

時	ねらい	主な学習活動	評価規準	子どものつまずきに応じた主な指導・援助
1	運動や仲間の目指す姿を知り学習の進め方やきまりなど、単元の見通しをもつことができる。	<p>教師の示範によりあこがれを抱かせ、運動パネルや学習カードなどから単元全体の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲームが成立するための最小限のルールや学習の進め方を知る。 目指す仲間の姿やきまり、役割分担など、グループで計画を立てる。 リーダー、PO, MOなどの役割を決める。 <p>カバーし合って、ボールをつなぎ、相手コートへ返すゲームができる。 互いに認め、励まし合い、動きの指示を出し合って、運動することができる。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>ソフトバレーボールの楽しさや喜びを味わうために積極的に運動しようとしている。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>ボールをうまくレシーブできない、動き方が分からないという苦手意識から、積極的に運動する意欲がもてない。</p> <p>評価 観察・学習カード</p> <p>指導・援助</p> <p>目指す姿を再確認し、グループの一人でもやる気がなくてはチームプレーは成立しないことを語り、その子に応じた課題や目指す姿を設定することで意欲をもたせる。</p>
2	ためしのゲームでチームの力や問題点を見つけることができる。ゲーム中に進んで仲間と声をかけ合うことができる。	<p>ためしのゲームでチームの問題点を見つけ、課題を明らかにしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> チームのやり方やルールを確認し、自分達のチームの力を知る。 チームで、何が課題なのかを見つける。 仲間に「ボールきたよ」「はい、とるよ」「うしろきたよ」などの声をかけながら、練習したりゲームをしたりする。 	<p>思考・判断</p> <p>ためしのゲームから自分達のよいところやチームの課題を明らかにしている。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>自分達のチームのゲームの様相がつかめず、チームの問題点が分からない。</p> <p>評価 観察・学習カード</p> <p>指導・援助</p> <p>作戦タイムや反省会に入り、今日のゲームを姿やゲーム記録から振り返らせて、課題を見つけさせる。</p>
3・4	ボールを落とさないで、返すゲームをすることができる。仲間のよい姿を認める声をかけたり、失敗した仲間に励ます声をかけたりすることができる。	<p>素早くボールの落下点に動いてレシーブし、ボールを返すゲームをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 落下するボールの下に動いて、体の正面でキャッチする練習をする。 自分の守る範囲が分かる。 バケツやコーンを利用したボールキャッチゲームで素早く落下点に動く練習をする。 仲間のよいプレーには「ナイスレシーブ」「いいぞ」「今の動きやぞ」などの声をかけたり、失敗した仲間には、「がんばれ」「気にするな、次たのむよ」などの声をかけたりして、練習やゲームをする。 	<p>技能</p> <p>3、4時間目 ボールの落下点に素早く移動して、レシーブすることができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>ボールが来ても動けず、見送ったり、ボールとの距離感がつかめず、落下点に動いたりできない。</p> <p>評価 観察・学習カード</p> <p>指導・援助</p> <p>落下点に素早く走ってボールをまず胸でキャッチする動きを練習させる。次に、バケツやコーンでキャッチできるか練習し、最後に手でレシーブするように段階を踏んで練習させる。</p>
5	カバーしてつなぎ相手コートに返すゲームをすることができる。練習やゲームで気付いた事や事実	<p>相手コートに返らなかったボールの下に素早く入ってカバーし、チームでつなぎ合ってボールを返すゲームをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> チームの仲間同士で「動いて」「前」「右」「左」「カバー」などの声を必ずかけ合って練習する。 作戦タイムや中間研究会では、気付いた事や事実を出し合い、動き方を教え合う。 カバーし合ってボールをつなぐために、ボールの方へ体を向け、一步踏み出すことを意識してネット越 	<p>関心・意欲・態度</p> <p>5時間目 連絡や指示、励ましの声をかけ合ったり、分かりやすく教え合ったりしようとしている。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>恥ずかしくて、声をかけ合ってプレーできない。どんな声をかければよいのか分からない。気付いた事実が話せず、教え合いができない。</p> <p>評価 観察・学習カード</p>

6	<p>を出し合い、作戦板や動きを使って分かりやすくや教え合うことができる。</p>	<p>しの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> カバーの動きが分からない仲間には、作戦板を使って動きを確かめ合ったり、具体的に動きを使って「レシーブはこうするといいよ」「カバーはこういうふうに」などと教え合ったりする。 	<p>技能 6時間目 ボールの下に素早く入り、カバーの動きをすることができる。</p>	<p>指導・援助 声を出し合うことや具体的な事実を出し合うことで、ボールを落とさずレシーブしたり、カバーの動きにすぐ入れることを話し、教え合いの大切さを話す。</p> <p>つまずきの様相 仲間の打ったボールを目や顔では追うが体が動かない。カバーに走り出すタイミングが遅い。</p> <p>評価 観察・学習カード</p> <p>指導・援助 ボールが空中にあるうちに、必ずボールが行った方向に体（つま先）を向け、一步踏み出す動きを「動け」「前」「今」などの声と共に繰り返し練習させる。</p>
7	<p>相手からのボールをととのえて、攻めるゲームをすることができる。動きの指示を積極的に出し合って、運動することができる。</p>	<p>1本目のボールを高くコートの中に上げ、ととのえて相手コートに返すゲームをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1本目を高くコート前方や真ん中にボールを上げると、カバーしやすくなったり、相手コートに攻めやすいボールを返したりすることができることを知り、1本目をコートの中真ん中に上げ、ボールをととのえて返すネット越しの練習をする。 「前」「大きく」「高く上げて」「こっち」「さん」「アンダー」「上」など動き方についての指示の声をどんどんかけ合う。 	<p>思考・判断 7時間目 チームの課題に応じた練習方法を選択している。</p>	<p>つまずきの様相 課題に適していない練習方法を選んでいる。</p> <p>評価 観察・学習カード</p> <p>指導・援助 再度チームのゲームの様相や動きについて、確認し、課題を正しく把握させる。その課題を解決するための練習方法を話したり、掲示物から選択させたりする。</p>
8			<p>技能 8時間目 1本目を山なりの高いボールでコート前方や真ん中に上げ、ととのえ、つないで相手コートに返すことができる。</p>	<p>つまずきの様相 ボールをレシーブすることはできるが、つなぎにくいボールでコートに落下する。ネットより低い高さのレシーブのため、ネットに引っかかり、つないで返せない。</p> <p>評価 観察・学習カード</p> <p>指導・援助 1本目を高く上げることで次につながるというよさを示範で再度つかませる。腕の角度でボールの飛ぶ方向が変わることを実際に体験させ、高く1本目を上げる練習をさせる。バスケットゴールの高さを目指して、高くアンダーレシーブをする練習をさせる。</p>
	<p>自分達のチームのよさ</p>	<p>自分達のチームのよさを生かした作戦で、カバー</p>	<p>技能 9時間目 ボールのイン・ア</p>	<p>つまずきの様相 ルールがしっかり理解で</p>

9	<p>を生かした作戦で、カバーし合っ てボールをつなぎ、相手コートに返すゲームができる。 認め、励まし合い、動きの指示を出し合っ て運動することができる。</p>	<p>し合っ てボールをつなぎ、相手コートにボールを返すゲームをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーグ戦をする。 ・自分達のチームの特徴が生かせるように作戦を練り みんな でカバーし、つないで返すゲームができる。 	<p>ウトやネット、返球回数などを正しく判断して、公平に審判することができる。</p>	<p>きておらず、自信がないため、アウトを知らせる 笛がうまく吹けず、ゲームがスムーズに運ばない。</p> <p>評価 観察・学習カード</p> <p>指導・援助 ルールを再度確認し、笛の合図でしっかりゲームを止めたり、ボールの落下位置を見逃さないようにしたりして判定することを話す。</p>
10	<p>反省会を行い、リーグ優勝を目指して精一杯努力し、目指す仲間の姿になれたかどうか振り返ることができる。</p>	<p>カバーし合っ て、ボールをつなぎ、相手コートへ返すゲームができたか。 互いに認め、励まし合い、動きの指示を出し合っ て、運動することができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーグ成績(順位)や課題達成度などをもとにして、レシーブの上達ぶり、動きの上達ぶり、高まった仲間の姿などを振り返る。 	<p>思考・判断 10時間目 自分達のチームのよさを生かす守り方や、相手チームに応じた返し方の作戦を工夫したり、修正したりしている。</p>	<p>つまずきの様相 どのチームとのゲームも作戦が同じで、作戦タイムで意見を出し合い、作戦を練り直していけない。</p> <p>評価 観察・学習カード</p> <p>指導・援助 相手のチームの特徴や作戦をこれまでのゲームの様子から振り返らせ、相手チームに合わせて、作戦や意識することを考えていくように話す。一緒に作戦を練る。</p>